

国語科学習指導案

平成23年 10月17日(月)～10月26日(水)
6年〇組 指導者 長期研修員 阿部 かおる

〈育成する能力〉

互いの立場や意図をはっきりさせながら、計画的に話し合う力

「A 話すこと・聞くこと」内容の(1)のオ

〈評価規準〉

| 国語への関心・意欲・態度 | 話す・聞く能力 | 言語についての知識・理解・技能 |
|---|---------------------------------|--|
| 目的や意図に応じ、考えたことや伝えたいことなどについて、的確に話したり、話し手の意図をつかみながら聞いたり、計画的に話し合ったりしている。 | 互いの立場や意図をはっきりさせながら、計画的に話し合っている。 | 語感、言葉の使い方に対する感覚などについて意識して話したり聞いたりしている。 |

〈取り上げる言語活動〉

イ 調べたことやまとめたことについて、討論などをする言語活動

調べたことやまとめたことを話題として取り上げ、互いの考えを出し合い討論する言語活動である。調べたことやまとめたことについて討論するためには、自分なりに幅広く考え、資料を用意しておくことが必要となる。話し合いで異なる意見や対立する意見が出たときには、準備した資料などに基づいて明確に対応することが必要となる。

I 題材名 自分の意見をはっきりさせて話し合おう

「新しい課題を見つけるために話し合おう」(学校図書 6年下)

II 単元・題材の考察

1 児童の実態

(1) 国語への関心・意欲・態度

本学級では、学級全体での話し合いでは、発言する児童は限られてしまうことが多く、グループの話し合いでも、一部の活発な児童に発言が偏る傾向が見られたが、6月に学習した「推薦します。人生の達人」の単元で話し合いの学習を経験し、現在では、自分の思いや考えを進んで表現しようとする児童が増えつつある。しかし、話し合いに積極的に参加する児童が増えてきた一方で、話し手が一方的に話してしまい、友達の考えに耳を傾けられなかったり、友達が話しているのに聞き手が同時にしゃべってしまったりする状況が多く見られ、話し合いの内容が深まらない傾向がある。

(2) 話す・聞く能力

事前に行った「話し合いの学習」についての意識調査では、学級の半数以上の児童が、「話し合うことが好き」「だいたい好き」と答えている。話し合いに積極的に参加していると答えた児童も約7割いた。また、聞き手を納得させるために、理由をあげながら自分の考えを話すことや自分の考えと比べながら友達の意見を聞き、質問することができる

と考えている児童も多く見られるが、実際の話し合いの様子を観察すると、友達の意見に対して自分の思いや考えを

| 「話し合いの学習」に関する意識調査 | | (2011.9 実施 32人) | | | |
|---|----|-----------------|----|---|--|
| 質問項目 | ① | ② | ③ | ④ | |
| A 話し合うことが好きだ。 | 4 | 14 | 14 | 0 | |
| B 話し合いには積極的に参加している。 | 6 | 16 | 10 | 0 | |
| C 理由をあげながら、自分の考えを話すことができる。 | 2 | 18 | 12 | 0 | |
| D 自分の考えと比べながら聞き、質問することができる。 | 8 | 15 | 8 | 1 | |
| E 友達の考えを聞いて、なるほどと思うことがある。 | 17 | 12 | 3 | 0 | |
| F グループの話し合いで考えが一つにまとまることもある。 | 13 | 13 | 6 | 0 | |
| G 自分の考えを話しやすい話し合いの形態(複数回答) ペア(9人) グループ(29人) 学級全体(2人) | | | | | |

①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない ④そう思わない

話し、お互いの意見を交流して考えを広げたり深めたりする話し合いまでは至っていないように思われる。話し合いの形態は、学級全体よりもグループやペアなど少人数の方が安心して自分の考えを話しやすいと思っている児童が圧倒的に多いことがわかった。

(3) 言語についての知識・理解・技能

ほとんどの児童が相手や場面に応じた丁寧な言い方で適切に話すことができるが、語感や言葉の使い方に対する感覚などを意識したり、言葉遣いに気を付けたりして話し合うことができる児童は少ない。

2 題材観

本題材で目指す言語能力は、小学校学習指導要領国語「A 話すこと・聞くこと」の第5学年及び第6学年の指導事項「オ 互いの立場や意図をはっきりさせながら、計画的に話し合うこと。」である。この言語能力を育成するために本単元では「イチ押しシート」と「話し合いボード」を使って話し合いの学習を行う。

本単元では、児童が、自分なりの未来予想を考え、グループや学級全体で、互いの考えを比べながら話し合い、自分の考えを深めていく学習である。「未来予想」について書かれた文章や資料の写真を考えるきっかけとして、自分達の未来について様々な立場から考えを深め、「2100年の〇〇小の未来を予想しよう！」というテーマで学級全体の話し合い（公開討論の形式）を展開していく。学級全体の話し合い（公開討論の形式）での討議には「根拠」に基づいた「論理性」が必要になってくる。自分の立場・考え方を聞き手に分かるように話すためには、論点を明確にし、自分の考えを効果的に伝える資料を用意することが必要になる。同時に予想される質問や反論に対する回答も用意しておくことが必要になる。本単元での話し合いでは、これまで児童が身に付けてきた「話す・聞く」力を生かし、さらに、公開討論の形式による話し合いの能力を高めることを目指して、自分と異なる様々な立場の友達と意見交換することにより、児童は自分の考えをさらに深めていけると考える。この学習を通して、「自分の考えを相手に伝えるために効果的に話す」「目的意識をもって友達の考えを聞く」ことができるようになり、互いの考えを比べながら話し合う力をはぐくむことができるだろうと考える。また、国語科で学んだ互いの考えを比べながら話し合う力は、各教科等の学習場面において行われる言語活動でも必要とされるものである。

6年生になると、これまでの経験や知識の積み重ねや興味、関心の広がりから、いろいろな物事に対し、それぞれに自分の考えをもつことができるようになってくる。しかし、その考えを他者に正確に伝えるという力は、根拠が曖昧であったり、論理的に話すことが苦手であったりして、まだ十分に身に付いてはいない。また、話し合いにおいても、まだまだ自分の考えに固執し、友達の考えのよさを認めることができないことも多く見られる。そこで本単元の学習を通して、討論会を行うことにより、自分の考えを論理的にまとめ、根拠をはっきりさせて効果的に相手に伝えたり、相手の考えを自分の考えと比べて聞いたりすることで、考えを深め、互いの考えを比べながら話し合う力をはぐくんでいきたい。

以上のことから、本題材での学習を通して、「イチ押しシート」と「話し合いボード」を取り入れることで、互いの考えを比べながら話し合う力をはぐくむことができると考える。

Ⅲ 指導目標

学級全体の話し合い（公開討論の形式）の方法について理解し、役割を決め、互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合うことができる。

Ⅳ 学習指導における具体的評価規準

| 国語への関心・意欲・態度 | 話す・聞く能力 | 言語についての知識・理解・技能 |
|-----------------------------------|---|--|
| テーマに沿って主張したいことを決め、進んで話し合いに参加している。 | 相手の反論や質問を予想しながら話したり、話し手の意図をとらえながら聞いたりして話し合っている。 | お互いの考えを深め合う話し合いができるように言葉遣いに気を付けて話している。 |

V 指導方針及び学習の支援

【「つかむ」過程】

- 児童が意欲的に学級全体の話し合い（公開討論の形式）に取り組めるように、この話し合いは対立ではなく、それぞれの提案のよさを認め合ったり、討議し合ったりして、互いの考えを深めていく話し合いであることを確認する。
- 学級全体の話し合い（公開討論の形式）で話し合う話題は、児童にとって身近なもので、多様な角度から考えていくことのできるものを選定する。児童が話題について意欲的に考えられるよう話題について考えるきっかけになるような資料（映像、写真、新聞記事、漫画、ポスターなど）を準備し紹介する。

【「追究する」過程】

- 児童が「互いの考えを比べながら話し合う」とはどんな話し合いなのか具体的にイメージしやすくするために、目指す話し合いのすがたを例示する。
- グループの話し合いの場面では、児童一人一人が確実に自分の考えをもって話し合うために、話題について考えをまとめるための「イチ押しシート」と互いの考えを比べるための場として「話し合いボード」を使用する。
- グループの考えを一つにまとめる場面では、互いの考えの共通点や相違点に着目して話し合えるように話し合いの視点を提示する。
- グループの主張に根拠がなかったり、具体例がなかったりして説得力に欠ける場合には、モデル原稿を提示するなどして、根拠や具体例を明確にした主張に修正できるようにする。
- グループの話し合いの目的や役割、進行について明確にするために、グループの話し合い進行表を用意する。
- 学級全体の話し合い（公開討論の形式）に向けた準備の段階においては、発表者として話す内容の構成の仕方や聞き役として相手の意見を聞き取り、どのように質問して自分の意見と関係付けるか、どう反論するかなど、発表者、聞き役としての準備を同時に進めていけるよう支援する。

【「まとめる」過程】

- 学級全体の話し合い（公開討論の形式）では、「話し合いボード」を提示して、学級全体で話し合うことを通して、立場や意図をはっきりさせて互いの考えを比べるように指示する。
- 司会を担当する児童には、「討論をどんな方向にもっていくか。」「討論の柱立てをどうするか。」「意見が出ないとき、対立して収拾がつかないときなどにどう対応するか。」などの点から個別指導を行い、「学級全体の話し合い進め方シート」を用意する。司会進行がつかず詰まっている際は、アドバイスするなどして円滑に進行できるようにする。
- 学級全体の話し合い（公開討論の形式）終了後に、どんな発言が自分の考えを深めたり広げたりするのに役立ったか、討論会を進める際に、どんな整理の仕方が有効だったか振り返る場面を設定する。説得力のある発言や、相手の意見に応じた適切な発言などの、よい発言をビデオ映像で記録しておき、学習の振り返りで紹介する。
- 自分の考えの深まりや変化に有効であった発言や進め方を振り返るために、「イチ押しシート」を使って学習を振り返る。学級全体の話し合い（公開討論の形式）を通して深まった自分の考えを「ひとこと少年の主張」としてまとめ、ビデオ撮影して校内で発表の場を設定することで単元のまとめとする。

VI 指導と評価の計画(全7時間)

| 過程 | 時間 | 学 習 活 動 | 支援及び留意点 | 評価項目（評価方法） |
|-----|----|--|--|---|
| つかむ | 1 | ○自分の考えを確かにする。 ・テーマについて、主張したいことや理由などを明らかにしながら、自分の考えを「イチ押しシート」にまとめる。 | ・テーマについて、主張したいことや理由などを付箋紙に書き、「イチ押しシート」に整理することで、自分の考えを確実にもつことができるようにする。 ・児童の学習に対する意欲を高めるために、 | 【関心・意欲・態度】 学級全体の話し合い（公開討論の形式）までの学習の流れが分かり、自分の考えを明らかにして、話し合う |

| | | | | |
|--|-----------------------|---|---|--|
| | | <ul style="list-style-type: none"> 考えをクラスで交流し、似ている意見の児童同士でグループに分かれる。 | <p>話題について考えるきっかけになるような資料（映像、写真、新聞記事、漫画、ポスターなど）を準備し紹介する。</p> | <p>ことに意欲をもっている。 （行動の観察、「イチ押しシート」の記述の確認）</p> |
| <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;"> テーマ「2100年の〇〇小の未来を予想しよう！」 </div> | | | | |
| 追 究 す る | 2 | <p>○グループの考えをまとめ、情報を集める。</p> <ul style="list-style-type: none"> グループとしての考えを話し合い、説得力のある主張になるように資料を準備する。 | <ul style="list-style-type: none"> グループとしての考えを整理するために、「イチ押しシート」にまとめた考えを「話し合いボード」を使って話し合うことを指示する。 グループの考えを一つにまとめる場面では、互いの考えの共通点や相違点に着目して話し合えるように話し合いの視点を提示する。 | <p>【話す・聞く能力】 自分と友達の考えの共通点や相違点に分かり、自分の考えと比べながら話し合っている。 （話し合いの観察、発言の確認、「話し合いボード」の分析、自己評価カードの記述の確認）</p> |
| | 3 ・ 4 ・ 5 | <p>○グループで主張をまとめ、学級全体の話合い(公開討論の形式)の準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 集めた情報を基にグループで話し合い、説得力のある主張をまとめる。 提案する内容や具体的な方法をメモしたり提案資料を作ったりする。 発表者や司会役、聞き役など役割分担を決める。 | <ul style="list-style-type: none"> 集めた情報を「話し合いボード」で整理しながら話し合い、説得力のある主張をまとめることを通して、互いの考えを比べることができるようにする。 グループの主張に理由がなかったり、具体例がなかったりして説得力に欠ける場合は、主張を修正できるようにモデル原稿を提示する。 自分達の主張に対する質問や反論を予想して、答えられるようにしておくよう助言する。 | <p>【話す・聞く能力】 自分と友達の考えの共通点や相違点に分かり、自分の考えと比べながら話し合っている。 （話し合いの観察、発言の確認、「話し合いボード」の分析、自己評価カードの記述の確認）</p> |
| ま と め る | 6 ・ 7 | <p>○学級全体の話合い(公開討論の形式)を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 発表者や聞き役、司会役など役割を分担し、学級全体の話合いを行う。 「話し合いボード」を提示して、グループの考えを比べながら話し合う。 学級全体の話合いは二回に分けて行う。 同じ考えの児童で八つのグループを作り、一回の話合いで四つのグループが主張を述べる。 <p>○学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 学級全体の話合い（公開討論の形式）を通して深まったり、変わったりした考えを振り返り、「ひとこと少年の主張」をまとめる。 | <ul style="list-style-type: none"> 立場や意図をはっきりさせて互いの考えを比べながら話し合うために、「イチ押しシート」と「話し合いボード」を使って、学級全体の話合いをすることを伝える。 <p>発表者 →「話し合いボード」を提示し、自分の立場や意図をはっきりさせて考えを述べるができるようにする。</p> <p>聞き役 →「イチ押しシート」を使って相手の考えを聞き、どのように質問や意見をするか、考えを比べながら聞くことができるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 説得力のある発言や、相手の意見に応じた発言などをビデオ映像で記録しておき、学習の振り返りで紹介する。 「イチ押しシート」と「話し合いボード」を使って学習を振り返ることにより、考えの深まりに気付けるよう助言する。 まとめた考えは「ひとこと少年の主張」としてビデオ撮影し、校内で発表の場を設定する。 | <p>【話す・聞く能力】 立場や意図をはっきりさせて、自分の予想を話したり、相手に質問したりしている。 （話し合いの観察、発言の確認、「イチ押しシート」の記述の分析、自己評価カードの記述の確認）</p> <p>【言語についての知識・理解・技能】 お互いの考えを深め合う話し合いができるように言葉遣いに気を付けて話している。 （話し合いの観察、 発言の確認）</p> |

Ⅶ 本時の学習 〈つかむ過程〉第1時(1/7)

1 ねらい

テーマについて主張したいこと、その理由などを明らかにしながら、自分の考えをもつことができる。

2 準備 学習計画表、「イチ押しシート」、話題についての資料

3 展開 評価項目の○はおおむね満足、☆は十分満足を表す。

| 学 習 活 動 | 時間 | 支援及び指導上の留意点 | 評価項目・方法 |
|--|-----|---|---|
| <p>1 本題材の目標と学習内容を確認する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・目的・友達と考えを比べながら話し合い、自分の考えを深める。 ・相手・クラスの友達 ・方法・「イチ押しシート」と「話し合いボード」を使って話し合いをする。 ・学級全体の話し合い（公開討論の形式）を行う。 ・「ひとこと少年の主張」をまとめる。 </div> | 5分 | <ul style="list-style-type: none"> ・本題材の目標を明確にするために、「学習計画表」を基に、目標と大まかな学習内容を確認する。 ・学級全体の話し合い（公開討論の形式）の役割や進め方を説明し、この話し合いで意見を交流し、互いの考えを深め合うことを伝える。 ・目的意識・相手意識・方法意識を明確にもって学習に取り組めるように、目的や相手、学習方法を伝える。 | |
| 2100年の〇〇小の未来を予想しよう！ | | | |
| <p>2 自分が予想する「〇〇小の未来」を考え、「イチ押しシート」にまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【予想される児童の反応】</p> <p>①学習の流れや目的がつかめず、自分の考えをもつことができない。</p> <p>②資料から具体的に未来を予想することができない。</p> </div> | 25分 | <ul style="list-style-type: none"> ・児童の学習意欲を高めるために、話題について考えるきっかけになるような資料（映像、写真、新聞記事など）を紹介する。 ・なぜ、そのように未来予想をするのか、自分の考えを明確にする理由やエピソードとなる事例を付箋紙に書き、「イチ押しシート」に整理しながら、自分なりの考えをまとめるよう指示する。 ・必要に応じて、本やインターネットなどを活用して、詳しい情報を調べられるような場を設定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【児童に対する具体的な支援】</p> <p>①児童の興味のある分野から、どんな未来の学校を予想できるか一緒に考え、テーマについて考えが明確になるように支援する。</p> <p>②資料からどんな未来の学校が予想されるかを一緒に考え、テーマについて具体的な考えを引き出す。</p> </div> | <p>【関心・意欲・態度】</p> <p>○学級全体の話し合い（公開討論の形式）までの学習の流れが分かり、自分の考えを明確にして話し合うことに意欲をもっている。</p> <p>☆学級全体の話し合い（公開討論の形式）までの学習の流れや目的をつかみ、自分の考えや根拠を明確にして話し合うことに意欲をもっている。</p> <p>（行動の観察・「イチ押しシート」の記述の確認）</p> |
| <p>3 考えをクラスで交流し、似ている考えの児童同士グループに分かれる。</p> | 10分 | <ul style="list-style-type: none"> ・なるべく一つのグループが三～四人になるように、同じ提案内容の児童をグループにする。同じ内容に集中してし | |

| | | |
|----------------------|----|---|
| | | まったときには、グループを二つに分けるなどして、活動しやすい範囲の人数にする。 |
| 4 本時の活動のまとめと自己評価をする。 | 5分 | ・学習の取組を振り返るために本時の評価と感想を書くよう指示する。 |

Ⅶ 本時の学習 〈追究する過程〉第1時(2/7)

1 ねらい

共通点や相違点に着目して、互いの考えを比べながら話し合うことができる。

2 準備 学習計画表、「イチ押しシート」、「話し合いボード」、グループの話し合い進行表

3 展開 評価項目の○はおおむね満足、☆は十分満足を表す。

| 学 習 活 動 | 時間 | 支援及び指導上の留意点 | 評価項目・方法 |
|--|-----|---|---|
| 1 前時の学習への取組を振り返り、本時の学習目標と学習内容を確認する。 | 3分 | <ul style="list-style-type: none"> ・学習計画表を基に、前時の学習を振り返り、本時の学習内容「グループの考えをまとめ、資料を準備すること」を確認する。 ・話し合う前に、目的と話す観点について全体で整理し、共有する。 | |
| グループの考えをまとめよう | | | |
| 2 グループとしての考えをまとめるために話し合う。 【活動の流れ】 ①司会・書記を決める。 ②司会 ・「グループの考えをまとめる」ために話し合うことを確認する。 ・進行表に沿って話し合いを進める。 ③書記 ・中心になって「話し合いボード」の付箋紙を整理し、書き込みをする。 | 25分 | <ul style="list-style-type: none"> ・グループで話し合いの役割を決め、進行表に沿って、それぞれの考えを話し合うよう指示する。 ・グループとしての考えを一つにまとめるために、「イチ押しシート」と「話し合いボード」を使って話し合うことを伝える。 ・グループの考えを一つにまとめる場面では、互いの考えの共通点や相違点に着目して考えを比べながら話し合えるように話し合いの視点を提示する。 | 【話す・聞く能力】 ○自分と友達の考えとの共通点や相違点が分かり、自分の考えと比べながら話し合っている。 ☆自分と友達の考えの共通点や相違点、考えのよさに着目して互いの考えを比べながら話し合っている。 (話し合いの観察、発言の確認、「話し合いボード」の分析、自己評価カードの記述の確認) |
| 【予想される児童の反応】 ①自分の考えをグループの中で、話すことができない。 ②自分と友達の考えの共通点や相違点に着目できない。 | | 【児童に対する具体的な支援】 ①考えのよさを認め、自信をもって話せるように励ます。 ②「話し合いボード」の付箋紙を見ながら、自分の考えと友達の考えの共通点や相違点を一緒に考える。 | |
| 3 説得力のある主張にするために、資料を準備する。 | 15分 | ・説得力のある主張にするために、グループで絵や図などの資料を準備することを指示する。 | |

| | | |
|----------------------|----|----------------------------------|
| 4 本時の活動のまとめと自己評価をする。 | 2分 | ・学習の取組を振り返るために本時の評価と感想を書くよう指示する。 |
|----------------------|----|----------------------------------|

Ⅶ 本時の学習 〈追究する過程〉第2時(3/7)

1 ねらい

準備した資料を整理しながらグループで話し合い、説得力のある主張を考えることができる。

2 準備 学習計画表、「イチ押しシート」、「話し合いボード」

3 展開 評価項目の○はおおむね満足、☆は十分満足を表す。

| 学習活動 | 時間 | 支援及び指導上の留意点 | 評価項目・方法 |
|--|-----|--|---|
| 1 前時の学習への取組を振り返り、本時の学習目標と学習内容を確認する。 | 5分 | ・学習計画表を基に、前時の学習を振り返り、本時の学習内容「説得力のある主張をグループで考えること」を確認する。 | |
| グループで話し合い、説得力のある主張を考えよう | | | |
| 2 前時に準備した資料を基にグループで話し合い、説得力のある主張をまとめる。 | 35分 | <ul style="list-style-type: none"> ・「イチ押しシート」や「話し合いボード」を使って話し合い、自分たちの主張とその理由を明確にするよう指示する。 ・グループの考えを一つにまとめる場面では、互いの考えの共通点、相違点に着目して話し合えるように話し合いの視点を提示する。 | <p>【話す・聞く能力】</p> <p>○自分と友達の考えとの共通点や相違点分かり、自分の考えと比べながら話し合っている。</p> <p>☆自分と友達の考えの共通点や相違点、考えのよさに着目して互いの考えを比べながら話し合っている。</p> <p>(話し合いの観察、発言の確認、「話し合いボード」の分析、自己評価カードの記述の確認)</p> |
| <p>【予想される児童の反応】</p> <p>①話し合いの進め方や自分の役割が分からない。</p> <p>②自分と友達の考えの共通点や相違点に着目して質問したり、意見を言ったりできない。</p> | | <p>【児童に対する具体的な支援】</p> <p>①話し合いの目的や進行表をもう一度確認し、意欲的に参加できるように励ます。</p> <p>②「話し合いボード」の付箋紙を見ながら、自分の考えとの共通点や相違点を一緒に考え、さらに知りたいことや質問を考えられるよう助言する。</p> | |
| 3 本時の活動のまとめと自己評価をする。 | 5分 | ・学習の取組を振り返るために本時の評価と感想を書くよう指示する。 | |

Ⅶ 本時の学習 〈追究する過程〉第3時(4/7)

1 ねらい

自分たちの主張に対する質問や反論を予想し、回答を考えることができる。

2 準備 学習計画表、「イチ押しシート」、「話し合いボード」

3 展開 評価項目の○はおおむね満足、☆は十分満足を表す。

| 学習活動 | 時間 | 支援及び指導上の留意点 | 評価項目・方法 |
|-----------------------------|----|-------------------------------------|---------|
| 1 前時の学習への取組を振り返り、本時の学習目標と学習 | 5分 | ・学習計画表を基に、前時の学習を振り返り、本時の学習内容「自分たちの主 | |

| | | | |
|---|-----|---|---|
| 内容を確認する。 | | 張に対する質問や反論を予想し、回答を考えること」を確認する。 | |
| 学級全体の話し合いの準備をしよう① | | | |
| 2 自分たちの主張に対する質問や反論を予想し、答えられるようにグループで話し合う。 | 35分 | <ul style="list-style-type: none"> ・予想される他のグループからの質問とそれに対する回答を検討するよう指示する。 ・「イチ押しシート」と「話し合いボード」を使って一人一人が考えをもって話し合うよう指示する。 ・話し合いがまとまったグループから、提案する内容や具体的な方法をメモに書いたり提案資料を作ったりして学級全体の話し合い（公開討論の形式）の準備を始めるよう伝える。 | <p>【話す・聞く能力】</p> <p>○自分と友達の考えとの共通点や相違点分かり、自分の考えと比べながら話し合っている。</p> <p>☆自分と友達の考えの共通点や相違点、考えのよさに着目して互いの考えを比べながら話し合っている。</p> <p>（話し合いの観察、発言の確認、「話し合いボード」の分析、自己評価カードの記述の確認）</p> |
| <p>【予想される児童の反応】</p> <p>①自分たちの主張に対する質問や反論を考えられない。</p> <p>②自分と友達の考えの共通点や相違点に着目して質問したり、意見を言ったりできない。</p> | | <p>【児童に対する具体的な支援】</p> <p>①自分たちの主張の弱点を一緒に考え、質問や反論を考えられるよう助言する。</p> <p>②「話し合いボード」の付箋紙を見ながら、自分の考えとの共通点や相違点を一緒に考え、さらに知りたいことや質問を考えられるよう助言する。</p> | |
| 3 本時の活動のまとめと自己評価をする。 | 5分 | <ul style="list-style-type: none"> ・学習の取組を振り返るために本時の評価と感想を書くよう指示する。 | |

VII 本時の学習 〈追究する過程〉第4時(5/7)

1 ねらい

他のグループへの質問と意見をグループで話し合って考えることができる。

2 準備 学習計画表、「イチ押しシート」、「話し合いボード」

3 展開 評価項目の○はおおむね満足、☆は十分満足を表す。

| 学 習 活 動 | 時間 | 支援及び指導上の留意点 | 評価項目・方法 |
|--|-----|--|--|
| 1 前時の学習への取組を振り返り、本時の学習目標と学習内容を確認する。 | 5分 | <ul style="list-style-type: none"> ・学習計画表を基に、前時の学習を振り返り、本時の学習内容「他のグループへの質問と意見をグループで話し合って考えること」を確認する。 | |
| 学級全体の話し合いの準備をしよう② | | | |
| 2 他のグループの提案内容と理由を読み、質問と意見をグループで話し合って考える。 | 20分 | <ul style="list-style-type: none"> ・各グループの提案内容と理由を事前に集約し、一覧表にして配布する。 ・他のグループの提案内容と理由を読んで、質問と意見をグループで考えるよう指示する。 | <p>【話す・聞く能力】</p> <p>○自分と友達の考えとの共通点や相違点分かり、自分の考えと比べながら</p> |

| | | |
|--|--|--|
| <p>【予想される児童の反応】</p> <p>①他のグループへの質問や意見を考えられない。</p> <p>②自分と友達の考えの共通点や相違点に着目して質問したり、意見を言ったりできない。</p> | <p>【児童に対する具体的な支援】</p> <p>①他のグループの提案内容を一緒に読み、分からないところや疑問から質問や意見を考えられるように助言する。</p> <p>②自分の考えとの共通点や相違点を一緒に考え、さらに知りたいことや質問を考えられるよう助言する。</p> | <p>ら話し合っている。</p> <p>☆自分と友達の考えの共通点や相違点、考えのよさに着目して互いの考えを比べながら話し合っている。</p> <p>(話し合いの観察、発言の確認、自己評価カードの記述の確認)</p> |
| <p>3 発表者や司会役、聞き役など役割分担を決め、学級全体の話し合い（公開討論の形式）の準備を進める。</p> | <p>15分</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・司会の進め方が大変重要であることや、発表者は自分の考えを分かりやすく論理的に話すこと、聞き役はそれぞれの意見の意図をとらえて聞き、より詳しく説明を求める質問を行うことなど、それぞれの役割を確認する。 ・司会、発表者、聞き役の準備状況を把握し、準備が不十分である場合には個別に指導する。 |
| <p>4 本時の活動のまとめと自己評価をする。</p> | <p>5分</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・学習の取組を振り返るために本時の評価と感想を書くよう指示する。 |

Ⅶ 本時の学習 〈まとめる過程〉第1・2時(6・7/7)

1 ねらい

立場や意図をはっきりさせて、互いの考えを比べながら話し合うことができる。

2 準備 学習計画表、「イチ押しシート」、「話し合いボード」、司会の進め方シート

3 展開 評価項目の○はおおむね満足、☆は十分満足を表す。

| 学 習 活 動 | 時間 | 支援及び指導上の留意点 | 評価項目・方法 |
|---|------------|---|--|
| <p>1 前時の学習への取組を振り返り、本時の学習目標と学習内容を確認する。</p> | <p>5分</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・学習計画表を基に、前時の学習を振り返り、本時の学習内容「互いの考えを比べながら『学級全体の話し合い（公開討論の形式）』をすること」を確認する。 | |
| <p>立場や意図をはっきりさせて話し合おう</p> | | | |
| <p>2 学級全体の話し合い（公開討論の形式）を行う。</p> | <p>70分</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・学級全体の話し合い（公開討論の形式）の手順と役割分担を確認し、この話し合いで意見を交流し、互いの考えを深め合うことを伝える。 | <p>【話す・聞く能力】</p> <p>○立場や意図をはっきりさせて、自分の予想を話したり、相手に質問したりしている。</p> <p>☆聞き手が納得するような話し方で、立場や意図をはっきりさせて自分の考えを主張したり、</p> |
| <p>テーマ 2100年の○○小の未来を予想しよう！</p> | | | |
| <p>【活動の流れ】</p> <p>① 司会によるはじめの言葉 (2分)</p> <p>② 発表者の提案 (2分×4人)</p> | | <ul style="list-style-type: none"> ・互いの考えを比べながら話し合うために、「イチ押しシート」と「話し合いボード」を使って、学級全体の話し合い（公開討論の形式）をすることを伝える。 ・話し合いでは、原稿通りに話すのではな | |

| | | |
|---|--|---|
| <p>③ 発表者同士の 質問・意見 (5分)</p> <p>④ 聞き役からの質問・意見 (10分)</p> <p>⑤ まとめの主張を考える。 (2分)</p> <p>⑥ 発表者によるまとめ (1分×4人)</p> <p>⑦ 司会による終わりの言葉 (1分)</p> | | |
| <p>【予想される児童の反応】</p> <p>①立場や意図をはっきりさせ、根拠や理由をあげて、自分の予想を話すことができない。</p> <p>②話し手の意図をつかみながら主張を聞き、質問することができない。</p> <p>③未来についていろいろな考えがあることや、友達の考えのよさに気付くことができない。</p> | <p>く、それを基にしながら、相手の話に応じて話すことが大切だということを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・司会進行の児童がつかずいている際は、円滑に進行できるよう助言する。 ・説得力のある発言や、相手の意見に応じた適切な発言など、よい発言をビデオ映像で記録しておき、学習の振り返りで紹介する | <p>相手の考えの意図をつかんで発言したりしている。</p> <p>(話し合いの観察、発言の確認、自己評価カードの記述の確認)</p> <p>【言語についての知識・理解・技能】</p> <p>○お互いの考えを深め合う話し合いができるように言葉遣いに気を付けて話している。</p> <p>☆お互いの考えを深め合う話し合いができるように自分の考えを分かりやすく伝えるための話の構成を理解して話している。</p> <p>(話し合いの観察、発言の確認)</p> |
| <p>3 「イチ押しシート」に学習のまとめを書き、学習を振り返る。</p> <p>◆これまでの学習を振り返り、「ひとこと少年の主張」をまとめる。</p> | <p>10分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「イチ押しシート」と「話し合いボード」を使って学習を振り返ることにより、考えの深まりや変化に有効であった発言や進め方に気付けるよう助言する。 ・学習を振り返るために、説得力のある発言や、相手の意見に応じた適切な発言など、よい発言をビデオ映像で紹介する。 ・学級全体の話し合い（公開討論の形式）を通して深まった考えや変化した考えを基に、これまでの学習を生かして「ひとこと少年の主張」をまとめるように助言する。 ・「ひとこと少年の主張」はビデオ撮影し、校内で発表の場を設定する。 | |
| <p>4 本時の活動のまとめと自己評価をする。</p> | <p>5分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の取組を振り返るために本時の評価と感想を書くよう指示する。 | |